

A5

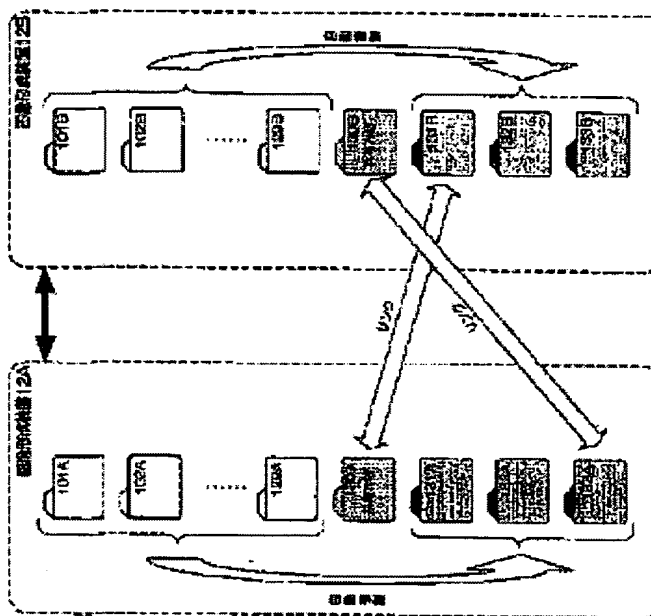
IMAGE FORMING APPARATUS AND NETWORK SYSTEM FOR IMAGE FORMING APPARATUS

Patent number: JP2003163765
Publication date: 2003-06-06
Inventor: SAITO TATSUHIKO
Applicant: FUJI XEROX CO LTD
Classification:
- international: H04N1/00; B41J5/30; G06F3/12; H04N1/21
- european:
Application number: JP20010360402 20011127
Priority number(s):

Abstract of JP2003163765

PROBLEM TO BE SOLVED: To surely manage the security of data by facilitating the management of data while improving operability and work efficiency.

SOLUTION: In the image forming apparatus, read image data are generated by reading the image of an original placed on the original platen of the image forming apparatus and converting the image to a digital signal, for example, by an image data generating means. The generated read image data are stored in a storage means. The storage means has a plurality of individually and independently accessible storage areas and stores the read image data and a setting parameter in the case of reading the original image. When storing the read image data in the storage means, the storage area to store the relevant read image data is designated by a designation means. Thus, the processed read image data and the setting parameter are stored in the desired storage area. Therefore, the image data can be easily managed by being stored in the storage area while being distinguished for each user and for each kind of image data, for example.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-163765
(P2003-163765A)

(43) 公開日 平成15年6月6日 (2003.6.6)

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号

H 0 4 N 1/00

B 4 1 J 5/30

G 0 6 F 3/12

H 0 4 N 1/21

F I

H 0 4 N 1/00

B 4 1 J 5/30

G 0 6 F 3/12

H 0 4 N 1/21

テマコード* (参考)

C 2 C 0 8 7

Z 5 B 0 2 1

B 5 C 0 6 2

D 5 C 0 7 3

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-360402 (P2001-360402)

(22) 出願日 平成13年11月27日 (2001.11.27)

(71) 出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂二丁目17番22号

(72) 発明者 齋藤 達彦

神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロ

ックス株式会社海老名事業所内

(74) 代理人 100079049

弁理士 中島 淳 (外3名)

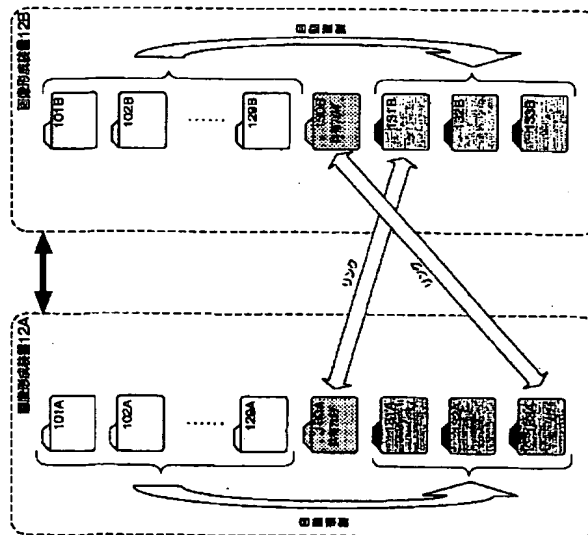
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 画像形成装置及び画像形成装置のネットワークシステム

(57) 【要約】

【課題】 操作性、作業効率を向上させつつ、データの管理を容易とし、確実にデータのセキュリティ管理を行う。

【解決手段】 画像形成装置は、画像データ生成手段によりたとえば画像形成装置の原稿載置台に載置された原稿画像を読み取ってデジタル信号に変換して読取画像データを生成する。生成された読取画像データは、記憶手段に記憶される。記憶手段は、個々に独立してアクセス可能な複数の記憶領域を有し、前記読取画像データ及び原稿画像を読み取る際の設定パラメータを記憶する。記憶手段に読取画像データを記憶する際には、指定手段により当該読取画像データを記憶する前記記憶領域を指定する。これにより処理を行った読取画像データ及び設定パラメータが所望の記憶領域に記憶される。従って、例えばユーザ毎、画像データの種類毎に区別して記憶領域に記憶することができ、画像データの管理が容易となる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の画像形成装置を接続することで画像形成装置のネットワークシステムを構成可能な画像形成装置において、

原稿画像を読み取ってデジタル信号に変換して読取画像データを生成する画像データ生成手段と、

個々に独立してアクセス可能な複数の記憶領域を有し、前記読取画像データ及び原稿画像を読み取る際の設定パラメータを記憶する記憶手段と、

前記読取画像データを記憶する際に、当該読取画像データを記憶する前記記憶領域を指定する指定手段と、
を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】 前記複数の記憶領域の各々に対して、当該記憶領域へのアクセスを許可するための認証情報を設定する設定手段と、

前記認証情報が設定された記憶領域にアクセスするときに、前記認証情報を入力する認証情報入力手段と、
を更に備えたことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】 前記複数の記憶領域に記憶された各読取画像データは、他の記憶領域に移動、複製、及び他の記憶領域に記憶された読取画像データと合成が可能であることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】 前記請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載の画像形成装置がネットワークを介して互いに情報の送受信が可能な状態で複数接続されていることを特徴とする画像形成装置のネットワークシステム。

【請求項5】 前記複数の画像形成装置に含まれる記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域は、ネットワーク上に接続された他の画像形成装置からアクセス可能な共有記憶領域として設定可能であることを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置のネットワークシステム。

【請求項6】 一つの画像形成装置の記憶領域と、他の画像形成装置の何れかの記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域とが互いにリンク可能となっており、一方の記憶領域にアクセスすることで他方の記憶領域に自動的にアクセスされることを特徴とする請求項4又は請求項5に記載の画像形成装置のネットワークシステム。

【請求項7】 前記互いにリンクされた記憶領域の何れか1の記憶領域に対して、前記読取画像データの記憶、複製、移動及び出力の何れかの処理を行った場合に、前記リンクされた他の記憶領域に当該読取画像データが自動的に転送又は複製されることを特徴とする請求項6に記載の画像形成装置のネットワークシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像形成装置及び画像形成装置のネットワークシステムにかかり、特に、読み取った原稿画像を画像データとして記憶する画像形

2

成装置及び1の画像データに対する複写、複製、出力等の処理を複数の画像形成装置において行うことができる画像形成装置のネットワークシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の所謂コピーサーバ機能を備えた画像形成装置では、所定の画像記録用紙に原稿画像を複写する場合、以下のように行われる。まず、画像形成装置の原稿載置台に載置された原稿画像を読み取り、読み取った原稿画像をファイルとして、即ち、原稿画像の画像データ及び出力条件（出力する用紙の大きさ、部数、後処理の有無等）をメモリに記憶して、この記憶されたファイル（画像データ及び出力条件）に基づいて画像を出力している。このような画像形成装置では、ファイルがメモリに記憶されていることから、再出力したり、記憶された画像データの合成及び合成後のデータを出力することができる。

【0003】また、複数の画像形成装置がネットワークや所定のインターフェイス等を介して接続されている場合には、ファイルが記憶された画像形成装置から出力すべきファイルを他の画像形成装置に対して転送することで、複数の画像形成装置から同様の出力を一時に行うことができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の画像形成装置では、読み込んだファイル（画像データ及び出力条件）をメモリに保存する場合に、保存先の指定ができず、自動的に特定の記憶領域又は特定のメモリに保存される。このため、ファイルの管理が煩雑であり、ファイル数が増加するほどこれが顕著となり、操作性及び作業効率が低下するという問題がある。また、保存されるファイルの参照、非参照の状態は画一的に定められるため、特定の人のみに参照されるべきファイルが参照されるおそれがある等セキュリティ上の問題がある。

【0005】本発明は、上記問題を解決すべく成されたもので、操作性、作業効率を向上させつつ、データの管理を容易として確実にデータのセキュリティ管理を行うことのできる画像形成装置及び記憶領域単位での画像形成装置のネットワークシステムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために請求項1に記載の発明は、複数の画像形成装置を接続することで画像形成装置のネットワークシステムを構成可能な画像形成装置において、原稿画像を読み取ってデジタル信号に変換して読取画像データを生成する画像データ生成手段と、個々に独立してアクセス可能な複数の記憶領域を有し、前記読取画像データ及び原稿画像を読み取る際の設定パラメータを記憶する記憶手段と、前記読取画像データを記憶する際に、当該読取画像データを記憶する前記記憶領域を指定する指定手段と、を備えた

3

ことを特徴としている。

【0007】請求項1に記載の発明は、複数の画像形成装置を接続することで画像形成装置のネットワークシステムを構成可能な画像形成装置に適用される。この画像形成装置は、画像データ生成手段によりたとえば画像形成装置の原稿載置台に載置された原稿画像を読み取ってデジタル信号に変換して読取画像データを生成する。生成された読取画像データは、記憶手段に記憶される。記憶手段は、個々に独立してアクセス可能な複数の記憶領域を有し、前記読取画像データ及び原稿画像を読み取る際の設定パラメータを記憶する。ここで、設定パラメータには読取画像データに基づいて画像を出力する場合の、出力される画像の濃度、倍率、記録用紙の大きさ、出力部数、等の出力条件が含まれる。なお、記憶手段には読取画像データのみを記憶しても良く、必ずしも設定パラメータを記憶する必要はない。また、記憶手段の記憶領域としては、例えば、所謂フォルダを適用することができ、記憶領域の数は予め定められた数であっても良い、適宜作成することができるように構成してもよい。記憶手段に読取画像データを記憶する際には、指定手段により当該読取画像データを記憶する前記記憶領域を指定する。これにより処理を行った読取画像データ及び設定パラメータが所望の記憶領域に記憶される。従って、例えばユーザ毎、画像データの種類毎に区別して記憶領域に記憶することができ、画像データの管理が容易となる。

【0008】請求項2に記載の発明は、前記請求項1の画像形成装置において前記複数の記憶領域の各々に対して、当該記憶領域へのアクセスを許可するための認証情報を設定する設定手段と、前記認証情報が設定された記憶領域にアクセスするときに、前記認証情報を入力する認証情報入力手段と、を更に備えたことを特徴としている。

【0009】請求項2に記載の発明によれば、記憶手段の各記憶領域には、設定手段により各記憶領域へのアクセスを許可するための認証情報を設定することができる。認証情報としては所謂パスワードが考えられる。認証情報が設定された記憶領域に対しては、認証情報入力手段により当該認証情報が入力されない限りアクセスが制限される。従って、任意の記憶領域に対して認証情報を設定することで、当該記憶領域へのアクセスを制御することができ、当該記憶領域に記憶されたデータのセキュリティ管理を容易に行うことができる。

【0010】請求項3に記載の発明は、前記請求項1又は請求項3に記載の画像形成装置において、前記複数の記憶領域に記憶された各読取画像データは、他の記憶領域に移動、複製、及び他の記憶領域に記憶された読取画像データと合成が可能であることを特徴としている。

【0011】請求項3に記載の発明によれば、前記複数の記憶領域に記憶された各読取画像データは、他の記憶

4

領域に移動、複製、及び他の記憶領域に記憶された読取画像データと合成が可能である。このため、例えば新たなデータを読み取らなくても、ファイルの複製、合成等の編集を行うことができ、操作性、作業効率が向上する。

【0012】請求項4に記載の発明は、前記請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載の画像形成装置がネットワークを介して互いに情報の送受信が可能な状態で複数接続されていることを特徴としている。

【0013】請求項4に記載の発明によれば、前記請求項1乃至請求項3の何れか1項に記載の画像形成装置がネットワークを介して互いに情報の送受信が可能な状態で複数接続されることにより、複数の画像形成装置において同一内容の読取画像データを出力することができる。例えば、高層ビルの1階と30階を行き来しなくても、同じ読取画像データについての出力画像を得ることができる。また、何れかの画像形成装置が処理中で、直ちに所望の処理が行えない場合でも、他の画像形成装置により同一内容の読取画像データに対する処理を行うことができる。

【0014】請求項5に記載の発明は、前記請求項4に記載の画像形成装置のネットワークシステムにおいて、前記複数の画像形成装置に含まれる記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域は、ネットワーク上に接続された他の画像形成装置からアクセス可能な共有記憶領域として設定可能であることを特徴としている。

【0015】請求項5に記載の発明によれば、前記複数の画像形成装置に含まれる記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域は、ネットワーク上に接続された他の画像形成装置からアクセス可能な共有記憶領域として設定可能である。従って、一つの読取画像データをこの共有記憶領域に記憶することで複数の画像形成装置からこの読取画像データを参照することができる。

【0016】請求項6に記載の発明は、前記請求項4又は請求項5に記載の画像形成装置のネットワークシステムにおいて、一つの画像形成装置の記憶領域と、他の画像形成装置の何れかの記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域とが互いにリンク可能となっており、一方の記憶領域にアクセスすることで他方の記憶領域に自動的にアクセスされることを特徴としている。

【0017】請求項6に記載の発明によれば、前記請求項4又は請求項5に記載の画像形成装置のネットワークシステムにおいて、一つの画像形成装置の記憶領域と、他の画像形成装置の何れかの記憶領域のうち少なくとも一つの記憶領域とが互いにリンク可能となっており、一方の記憶領域にアクセスすることで他方の記憶領域に自動的にアクセスされる。これにより、ネットワーク上に接続された他の画像形成装置に容易にアクセスすることができ、作業性が向上する。

【0018】請求項7に記載の発明は、前記請求項6に

5

記載の画像形成装置のネットワークシステムにおいて、前記互いにリンクされた記憶領域の何れか1の記憶領域に対して、前記読取画像データの記憶、複製、移動及び出力の何れかの処理を行った場合に、前記リンクされた他の記憶領域に当該読取画像データが自動的に転送又は複製又は移動される、又は、他の記憶領域から画像データが自動的に転送又は複製又は移動されることを特徴としている。

【0019】請求項7に記載の発明によれば、前記請求項6に記載の画像形成装置のネットワークシステムにおいて、前記互いにリンクされた記憶領域の何れか1の記憶領域に対して、前記読取画像データの記憶、複製、移動及び出力の何れかの処理を行った場合に、前記リンクされた他の記憶領域に当該読取画像データが自動的に転送又は複製されるため、読取画像データを転送された側の画像形成装置においても、当該読取画像データの出力、合成等を行うことができ、作業性が向上する。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態の一例を詳細に説明する。

【0021】図1及び図2は、本発明の実施の形態における画像形成装置12を示している。画像形成装置12は、画像読取部14、画像処理部16、画像出力部18、CPU22、RAM24、及びHDD28を含んで構成される。これら各部はビデオバス88を介して接続されており、所定のデータを相互に送受信することができる。また、CPU22には、バス89を介して入力操作部20とROM26とが接続されている。

【0022】さらに、図3に示すように画像形成装置12は、ネットワークインターフェース(I/F)30を介して他の画像形成装置と接続されており、画像形成装置12と複数の画像形成装置とが接続されることでネットワークシステムが構成されている。なお、図3では各画像形成装置12を区別するために、画像形成装置12A、12B、12C、12D、12E、12Fとする。

【0023】画像形成装置12の画像読取部14は、画像読取手段として機能し、スキャン機能を達成することができる所謂スキャナであり、図示しないインタフェースを介してCPU22と接続されている。画像読取部14では、図示しないコンタクトガラス等の原稿載置台に載置された原稿画像にLED(発光ダイオード)等の光源により所定の可視光を照射し、この光の反射光を固体撮像素子(CCD)等の画像読取素子により電気信号に変換することで、原稿画像を読み取る。そして、この読み取った画像について、文字、画像からなるイメージデータと制御データ(コマンドデータ)を作成し、これらの各データをCPU22を介して後述するHDD28へ送信する。なお、画像読取部14は、自動原稿搬送装置(ADF)34を有している。従って、画像読取部14では、複数枚の用紙からなる原稿束を1枚ずつ分離して

6

原稿載置台上に搬送し、所定の位置にセットすることができ、原稿束を自動的に1枚ずつ読み取ることができる。

【0024】画像処理部16は、画像読取部14に読み取られた画像データに対して必要な画像処理、及び、後述する入力操作部18からの指示に応じて所定の画像処理を行う。なお、ここにいる画像処理には、例えば、画像データ読取部で読み取られたアナログの画像データを2値或いは多値データに変換する量子化、原稿を照射する光源の照射ムラや、CCDの感度のばらつきを補正するシェーディング補正、光学系によるぼけを補正するMTF補正、画像の読取密度を変化させ、読み取った画像データを用いてデータ補間する変倍処理等の処理を行う。

【0025】画像出力部18は、画像出力手段として機能し、画像処理部16において処理された画像データに基づいて、所定の記録用紙に画像を記録し、出力する。画像出力部18は、図示しないレーザダイオード、ポリゴンミラー、レンズ等の光学部品で構成されたプリントヘッドと、感光体、帯電器、現像器等の電子写真プロセス器と、複数の給紙トレイ37を含み記録紙の給紙を行う給紙ユニット36とを備え、図示しないインタフェースを介してCPU22と接続されている。画像出力部18では、CPU22から送信された指示に基づいて、プリントヘッドのレーザダイオードからレーザビームを発生させ、帯電器により一様に帯電された感光体上にこのレーザビームを照射して静電潜像を形成し、現像器によってこの静電潜像を現像した後、給紙ユニット36から供給された記録紙に画像処理部16において処理された画像データに基づいて所定の文字または画像を転写記録する。なお、画像出力部18の出力端には、複数の排紙トレイ39を備えたソータ38が設けられ、画像記録された用紙を所定の指示に従って仕分けし、排出する。

【0026】入力操作部20は、LCDやCRT等ディスプレイから構成される表示部40及び入力操作を行うためのハードキー42を有している。表示部40は、例えば、画像形成装置12が備える諸機能(例えば、両面複写機能、並列複写機能等各種複写機能の設定・選択・変更等)の一覧を表示したり、これらの機能を選択・設定する機能設定画面、画像を記録する用紙の大きさの指定や、出力する画像の濃度、画像の拡大・縮小等の指定等の出力条件を設定するための出力条件設定画面等の各種設定画面を表示する。また、表示部40では、設定された内容を確認するためのメッセージや、処理実行中に処理の状態についてのメッセージ、処理実行後に処理が完了したことを通知する旨のメッセージをも表示する。

【0027】さらに、表示部40には、所謂タッチパネルが重ねて設けられ、表示部40に表示される操作キー等の表示領域に対応した入力領域を有している。ここデータタッチパネルは、上層及び下層の2層に積層されたア

【0033】また、これらのフォルダ101A、102A、103A…は、当該フォルダ101A、102A、103A…へのアクセスを許可するための認証情報としてパスワードを設定することができ、パスワードが設定されたフォルダについては、入力操作部20により当該パスワードの入力が確認されない限りアクセスできない 50

【0039】各フォルダ101A、102A、103A
…130A及びフォルダ101B、102B、103B
…130Bは、当該フォルダにアクセスするための認証

情報としてそれぞれパスワードが設定・登録可能となっている。また、各フォルダはファイルの保存時に他のフォルダに対して当該ファイルの複製ファイルを同時に保存するように設定・登録することができる。なお、パスワード等の認証情報や複製ファイルの保存等の設定は入力操作部20において行われる。

【0040】本実施の形態においては、フォルダ131A乃至フォルダ133Aの3個のフォルダには、当該フォルダにアクセスするための認証情報としてそれぞれパスワードが設定・登録されている。また、フォルダ133Aは、フォルダフォルダ130Bとリンクされている。また、フォルダ101A乃至フォルダ130Aの何れかのフォルダは、ファイルの保存と同時、及び、格納されたファイルの再出力の実行時に自動的に当該ファイルをフォルダ133Aに複製するように設定・登録されている。

【0041】同様に、フォルダ131B乃至フォルダ133Bの3個のフォルダには、当該フォルダにアクセスするための認証情報としてそれぞれパスワードが設定・登録されている。また、フォルダ131Bは、フォルダ130Aとリンクされている。フォルダ101B乃至130Bの何れかのフォルダは、ファイルの保存と同時、及び、格納されたファイルの再出力（再プリント）の実行時に、自動的に当該ファイルの複製ファイルをフォルダ131Bへ保存するように設定・登録されている。

【0042】なお、フォルダ130A、130Bには、アクセス時のパスワード、IPアドレス、FTPログイン名及びFTPパスワード等の識別情報が設定・登録されており、所謂共有フォルダとなっている。従って、フォルダ130A、130Bには、画像形成装置12B及び画像形成装置12Aにおいて、リンクするフォルダに所望のFTP設定がなされていればアクセスが許可される。

【0043】（例1）画像形成装置12Aにおけるコピー実行時に、当該コピーについてのファイルをの保存先をフォルダ101A乃至130Aの何れかに選択・指定する。コピーが終了すると、先に指定した所定のフォルダに当該ファイルが保存される。これにより、保存したフォルダにアクセスし、保存されたファイルに対して再出力の指示を行うことで、一度保存したファイルに対して、フォルダ単位で再出力可能である。また、これは仮に原稿画像が手元になくても再度出力が可能となる。さらに、ファイルが保存されていることから、他のファイルとの合成、他のフォルダへの移動、複製ファイルの生成等を容易に行うことができる。

【0044】（例2）画像形成装置12Aにおけるコピー実行時に、当該コピーについてのファイルaの保存先をフォルダ130Aに指定する。図5（A）、（B）に示すようにコピーが終了するとフォルダ130Aに当該ファイルaが保存されるが、フォルダ130Aは、13

1Bにリンクされているので、画像形成装置12Bの131Bにアクセスすることで実質的にはフォルダ130Aにアクセスしたこととなり、当該ファイルaを参照（出力、複製、合成等）することができる。

【0045】また、画像形成装置12Aにおいて何れかのフォルダに保存されているファイルの複製ファイルbを生成し、この複製ファイルbをフォルダ130Aに保存する。図5（A）、（B）に、フォルダ130Aがフォルダ131Bにリンクされていることから、フォルダ131Bにアクセスすることで当該複製ファイルbを参照することができる。

【0046】従って、画像形成装置12Bにおいてフォルダ131Bにアクセスすることで、実質的にはフォルダ130Aにアクセスしたこととなる。そして、フォルダ130Aに格納されたファイルa若しくは複製ファイルbを選択し、再出力の指示を行うことで、これらのファイルa、ファイルbを画像形成装置12Bにおいて出力することができる。これにより、仮に画像形成装置12Aが処理中でファイルa又はファイルbに対する処理が画像形成装置12Aにおいて行えない場合であっても、画像形成装置12Bにおいて同一内容のファイルに対する処理を行うことができる。

【0047】さらに、フォルダ131Bにアクセスしてファイルa又はファイルbを、例えばフォルダ101Bに複製することで、フォルダ130A内に格納されたファイルa及びファイルbと同じファイルを画像形成装置12B内に保存することができる。これにより、画像形成装置12Bにおいて、フォルダ101Bに複製されたファイルa又はファイルbと画像形成装置12Bの他のフォルダ102B、103B、…に格納された他のファイルとを合成し新たなファイルを生成することもできる。

【0048】（例3）画像形成装置12Aにおけるコピー実行時にフォルダ133Aを保存先として指定したり、フォルダ133Aを指定して画像形成装置12A内の他のフォルダからファイルを複製又は移動することにより、自動的に画像形成装置12Bのフォルダ130Bにファイルを転送することができる。

【0049】（例4）画像形成装置12Aにおけるコピー実行時にファイルの保存先としてフォルダ101Aを指定する。フォルダ101Aは、フォルダ101Aに対するファイルの保存等が行われた場合に、フォルダ133Aに当該ファイルを複製するように設定されているため、フォルダ133Aに当該ファイルが複製される。このとき、フォルダ133Aは、フォルダ130Bとリンクされているため、自動的にフォルダ130Bにも当該ファイルが転送される。

【0050】また、画像形成装置12Aのフォルダ101Aに記憶されたファイルを指定して再出力を指示した場合、同様にフォルダ133Aに当該ファイルが複製さ

11

れるため、フォルダ130Bにも自動的に当該ファイルが転送される。これにより、同一内容のファイルについて、複数の画像形成装置において略同時に処理を行うことができる。

【0051】このように、本実施の形態によれば、画像形成装置12A、12BにおいてHDD内に複数の記憶領域、即ちフォルダが設けられているため、例えば、ファイルの種類に応じて保存先のフォルダを切り替えたり、ユーザ毎に保存先を切り替えることでフォルダ毎にファイルの管理を行うことができ、データ、延いてはフ

【0052】また、各フォルダには、各フォルダへのアクセスを許可するか否かを設定する認証情報としてパスワードを設定可能となっているため、非公開ファイルと公開ファイルとを区別して管理することができるため、確実にファイル、データのセキュリティ管理を行うことができる。

【0053】さらに、各フォルダ間でファイルの複製、合成、移動が行えるため、ユーザ管理の変更や、公開・非公開の切り替え、ファイルの編集を自由に行うことが

【0054】さらにまた、画像形成装置がネットワークを介して複数接続され、互いに情報の送受信が可能となっている場合には、他の画像形成装置に保存されたファイルに対するアクセスが可能となり、より操作性、作業性が向上する。特に、他の画像形成装置のフォルダとリンクするフォルダを設定することで、例えば、一方のフォルダに記憶されたファイルを自動的に転送したり、複製したりすることができ、この場合には、画像形成装置において処理されたファイルを他の画像形成装置において処理することができる、一時にひとつのファイルを複数の画像形成装置に記憶することができる等の効果があ

12

る。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、操作性、作業効率を向上させつつ、データの管理を容易とし、確実にデータのセキュリティ管理を行うことのできる画像形成装置及び画像形成装置のネットワークシステムを提供する、という優れた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態に係る画像形成装置の外観を示す説明図である。

【図2】 本発明の実施の形態に係る画像形成装置の概略を示すブロック図である。

【図3】 本発明の実施の形態に係る画像形成装置が複数接続され画像形成装置のネットワークシステムを構成した場合の例を示す説明図である。

【図4】 本発明の実施の形態に係る画像形成装置のHDD内の記憶領域に対する設定状態を示す説明図である。

【図5】 本発明の実施の形態に係る画像形成装置のHDD内の記憶領域に対するアクセス状態を示す説明図である。

【符号の説明】

10 画像形成装置のネットワークシステム

12 画像形成装置

12A 画像形成装置

12B 画像形成装置

14 画像読取部

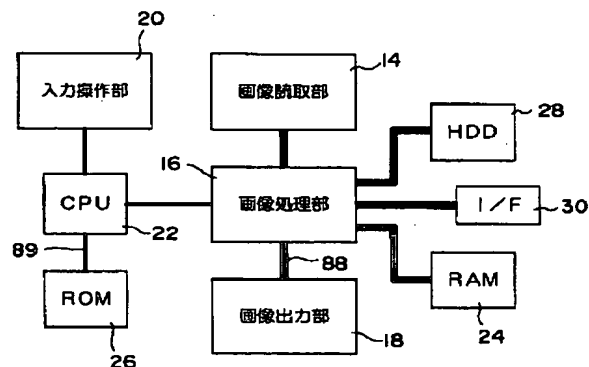
16 画像処理部

18 画像出力部

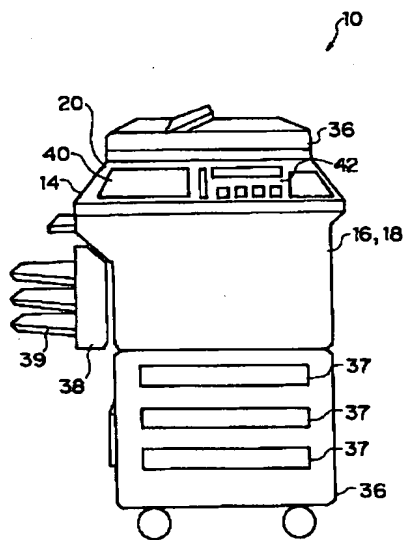
20 入力操作部

101A～133A、101B～133B フォルダ

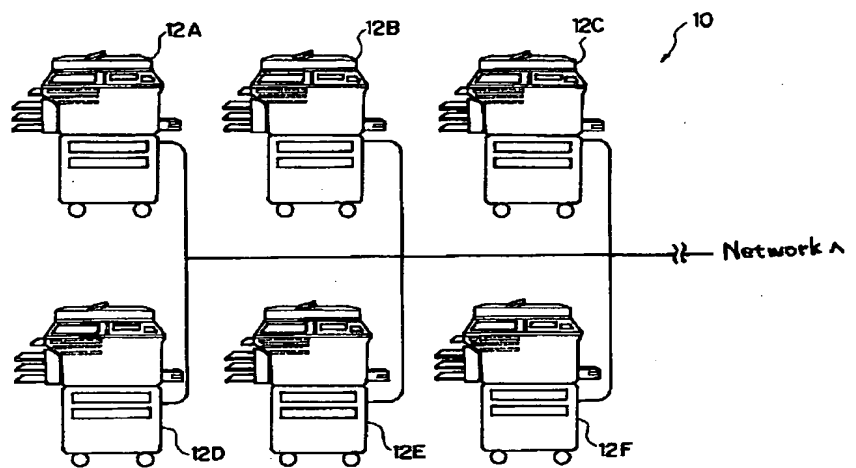
【図2】



【図1】

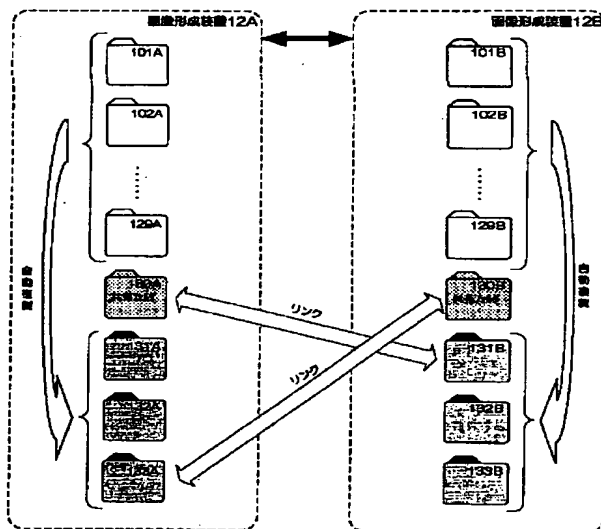


【図3】

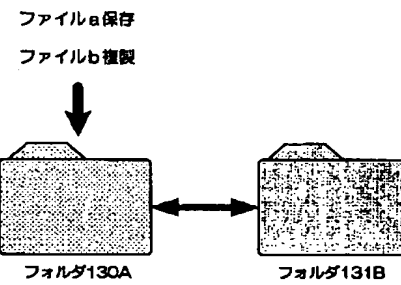


【図5】

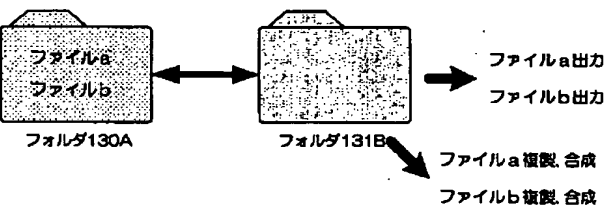
【図4】



(A)



(B)



フロントページの続き

F ターム(参考) 2C087 AB01 AC08 BA03 BB03 BB10
BC02 BC03 BD06 BD07 BD24
BD53 DA14
5B021 AA01 BB02 DD08 EE02 NN18
5C062 AA05 AA29 AB42 AC07 AC24
AC43 AF12 BA00
5C073 AA06 AB13 BA01 BB01 CD12